

1.大和市 泉の森（神奈川県中部）

泉の森は、南北に長い大和市の中央部西の端に位置する、約 42ha の自然を生かした公園で、北半分は引地川の水源地を取り巻く森林の林間コース、南半分は調整池としての湿性植物園と“しらかしの池”を周る開けたコースと大きく2分されます。

ここでは、カラ類を始めカワセミやアオサギ、その他一般の市街地で観られる野鳥が夏の間も観察されますが、お奨めの時期は晩秋から初夏までです。

“しらかしの池”では、ここで繁殖するカイツブリ、バン、それに1年中観られるカルガモに加え、10月になるとホシハジロ、キンクロハジロ、コガモ、オナガガモ等が飛来し、春に北へ帰るまではとても賑やかです。特にカワセミは1年中観られ、生まれながら大勢の人の中で育ったせいか、池

の縁でカメラが何台も並んでいるすぐ前の杭や枝に平気でとまり、水面にダイビングして餌を採る姿もしばしば観られます。また、池から引地川へ続くダムの部分では、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイの3色もよく観られます。それから、湿性植物園の奥、“泉の滝”の辺りの低い枝を注意して観ると、時にジョウビタキ、ルリビタキが可愛い目をクリックりさせていることがあります。なお、見所の一つとして県の天然記念物に指定されたシラカシの林があり、ケヤキやムクノキと共にかつての相模野台地の面影をしのばせてくれます。

一方、水源地の方では、マガモ、カルガモ、アオサギがよく観られ、周囲の林道を歩くとシジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、コゲラ、時々エナガも混ざったカラ類の

しらかしの池



左：しらかしの池で子育てをするバン

コースタイム

- ・しらかしの池・湿性植物園一周コース ゆっくり歩いて 60分
- ・森林コース ゆっくり歩いて 90分

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

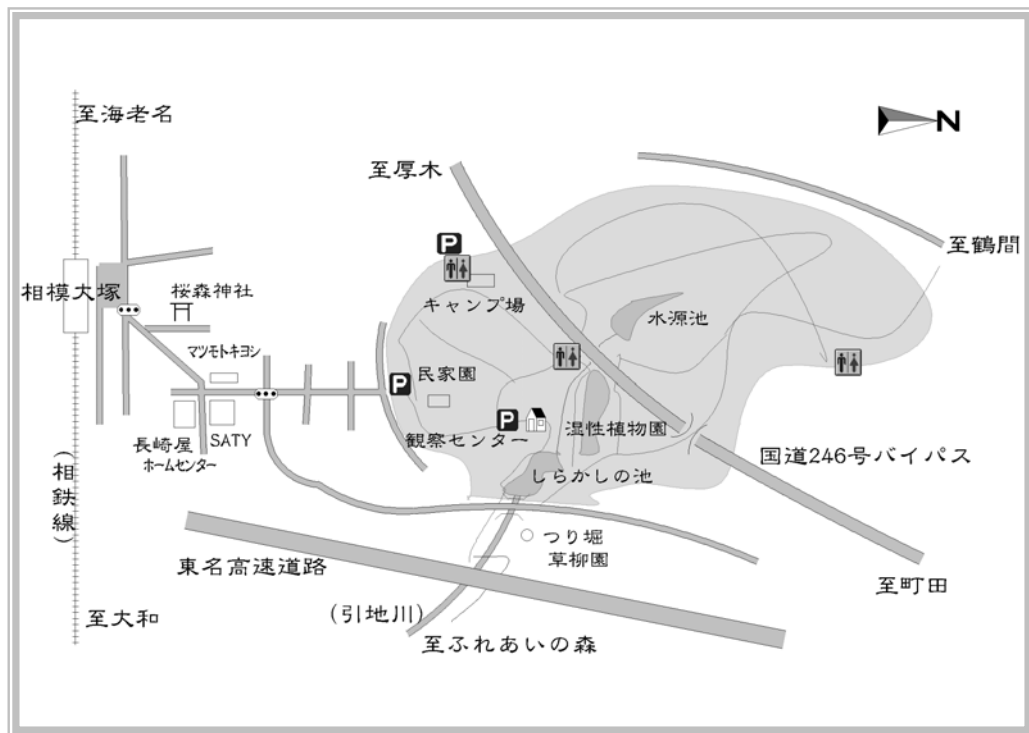
1.大和市 泉の森（神奈川県中部）

混群があちこちで、そして運が良ければ高い木の枝でアオゲラの姿も観ることが出来ます。また、気を付けて聞き耳をたてると、藪の中からはアオジ、ウグイスの地鳴き、道から少し離れた林床でカサコソと落ち葉をひっくり返しているツグミ、シロハラ、下草の間を動き回っているコジュケイ

等にも会える機会が多いコースです。

その他、春・秋の渡りの季節には、オオルリ、キビタキの姿が観られたこともあり、両コース合わせて、年間を通じて 50 種以上が毎年記録されています。

(清水道夫)



観察できた鳥（1997年～1999年）（65種）

カイツブリ・カワウ・ゴイサギ・コサギ・アオサギ・オシドリ・マガモ・カルガモ・オナガガモ・コガモ・ハシビロガモ・ホシハジロ・キンクロハジロ・スズガモ・トビ・オオタカ・ツミ・ハイタカ・チョウゲンボウ・キジ・コジュケイ・バン・ユリカモメ・キジバト・アオバト・ヒメアマツバメ・アマツバメ・カワセミ・アオゲラ・コガラ・ツバメ・イワツバメ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・ビンズイ・ヒヨドリ・モズ・ルリビタキ・ジョウビタキ・アカハラ・シロハラ・ツグミ・ヤブサメ・ウグイス・コヨシキリ・オオヨシキリ・キビタキ・オオルリ・エナガ・ヤマガラ・シジウカラ・メジロ・ホオジロ・カシラダカ・アオジ・カワラヒワ・イカル・シメ・スズメ・ムクドリ・カケス・オナガ・ハシボソガラス・ハシブトガラス

あし

相模鉄道線 相模大塚駅より徒歩 15分